

2021 0 コマ目の記録

2021年5月3日(月)~9日(日)

栽培中の植物

- マリーゴールド
- シソ
- バジル
- センニチコウ
- コリウス
- エダマメ
- ハツカダイコン
- ピーマン
- カボチャ
- トマト
- キュウリ
- ナス

栽培管理内容

日時	天気	気温(℃)	管理・植物の様子・指導
		最高(℃)	
		最低(℃)	
5/3(月) 8:30	晴れ	気温(21℃)	1. 管理 1) 灌水 ・ ハツカダイコン 2) 作業 ・ 野菜苗、灌水後に用土が沈み、量が少なく感じられたので、用土を足し鎮圧 ・ 南北の扉、開放(夜温 10℃ 下回らないので夜間も開けておく)
		最高(26.5℃)	
		最低(12℃)	
5/4(火) 8:30	晴れ	気温(24℃)	1. 管理 1) 灌水 ・ セルトレイ ・ トマト苗 2) 作業 ・ 16:40、強風のため南北の戸を閉める ・ 温室掃除(掃き掃除、道具片づけ)
		最高(29℃)	
		最低(16.5℃)	
5/5(水) 8:30	雨・強風	気温(17℃)	1. 管理 1) 灌水 ・ キュウリ(一部) ・ ピーマン 2) 作業 ・ 強風注意報が出ていた為、南北の扉は開けない 3) 害虫駆除 ・ ハツカダイコンの一部にアブラムシ確認(8:20) アースガーデン「ロハピ」使用(食品原料 99.9% 使用。収穫日前日まで何度も使える)虫が隠れている可能性もあるので、葉の表だけでなく裏側にも散布する →薬剤散布後の様子確認(13:00/16:30) アブラムシ付着したまま。翌日の様子を見て再度、薬剤散布するか検討する ・ ハツカダイコン一部に食害、虫確認。(種類は判別できず。シャクトリムシのような動き)一匹だけ確認→捕獲
		最高(21℃)	
		最低(15.5℃)	
5/6(木) 8:30	晴れ	気温(20℃)	1. 管理 1) 灌水 ・ カボチャ苗 ・ エダマメ(一部) ・ コリウス ・ ハツカダイコン(一部) 2) 作業 ・ 野菜苗に土を足して鎮圧する ・ エダマメ苗、トマト苗、キュウリ苗のスペーシング(苗と苗の間隔を広げる) ・ トマトのわき芽取り(わき芽は花房を取ってさし木にできる)
		最高(29℃)	
		最低(14.5℃)	

			<p>※はさみより手で取るとウイルスが蔓延しにくい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キュウリ、カボチャのつる取り ・ トマトの支柱立て ・ セルトレイの向きを南北に変える(太陽の向きにより胚軸が曲がるのを防ぐため) <p>3) 観察</p> <p>① ハツカダイコン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きいものから収穫するとよい ・ アブラムシは濡れたティッシュでとる ・ アブラナ科にはコナガ、ヨトウガ、カブラハバナ、ウワバが付着する可能性がある ・ 子葉が枯れてきているが収穫期なので液肥は使用しない <p>② エダマメ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウンカが付着していた ・ 子葉の次に生える葉は初生葉(しよせいよう) ・ 初生葉の次に生える本葉は3枚で1枚 <p>③ マリーゴールド</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒い斑点は油胞の可能性が高い <p>④ コリウス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出ていた芽が枯れている→発芽後にかわかしすぎた可能性あり <p>⑤ キュウリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 溢液(いつえき)現象 葉の縁(ぎざぎざの先の部分)から水分がでてくることをいう <p>※今後、ハダニやアブラムシが付着するので葉の裏もよく観察する</p>
<p>5/7(金) 8:30</p>	<p>曇り時々雨</p>	<p>気温(20.5℃) 最高(22.5℃) 最低(14℃)</p>	<p>1. 管理</p> <p>1) 灌水</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野菜苗(キュウリ、トマト、カボチャ、ピーマン、ナス) ・ セルトレイ(マリーゴールド、シソ、センニチコウ、バジル) ・ エダマメ <p>2) 作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南北の扉解放→雨が降り、強風になる可能性もあったので、夜間は扉を閉める <p>3) 追肥のタイミング(葉の状態から判断する)</p> <p>① 葉の色:最初と比べて薄くなってきたら、肥料切れのサイン</p> <p>② 葉の形(ハツカダイコンの場合): 通常1~2枚目の本葉は切れ込みが少なく、3枚目から切れ込み多くなる。肥料が多すぎると、3枚目以降の葉の切れ込みがなくなる。窒素が過剰になると葉を多く作り出し、栄養を取られ、根の太りが悪くなる(可食部が太らない)</p> <p>③ 葉の大きさ: 肥料が効いている時は、株の下から上にいくほど、葉は大きくなる(本葉 1枚目より2枚目、3枚目より4枚目の方が大きくなる) ※大きさの差があまりないうちに、肥料を施す。差が大きすぎる時に追肥すると、生育が進まず花の数も少なくなる=果実も少ない</p> <p>2. 観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マリーゴールドに蕾を確認。用土の栄養が少なくなり、体を維持できず、種を作ろうとしていると予想される(栄養成長できず生殖成長へ、株は若いのに老化している状態) →セルトレイ下から根が出たら、なるべく早く鉢上げ、もしくは薄い液肥を与えて老化を防ぐ <p>3. 植物栽培のポイント</p> <p>植物を育てるのはタイミングが重要(タイミングとは間引きや追肥、移植、摘芯、摘芽、収穫等の管理の時期のこと)</p> <p>植物を育てるのが上手い人=タイミングを逃さない人</p>

5/8(土) 8:00	晴れ時々曇り	気温(22℃)	1. 管理 1) 灌水 ・ 野菜苗 ・ セルトレイ ・ ハツカダイコン 2) 作業 ・ アブラムシを濡れティッシュでとる ・ キュウリとカボチャのつる取り ・ トマトのわき芽取り 3) その他 ・ バジルに虫の食べられた穴があるが虫は確認できない ・ 午後6時に南北の扉が閉まっていたが開ける
		最高(26.5℃)	
		最低(15.5℃)	
5/9(日) 8:00	晴れ	気温(24℃)	1. 管理 1) 灌水 ・ 13:00、キュウリ(一部)、トマト(一部) 2) 作業 ・ 南北の扉、解放→13時、風が強かったため、半分閉める(夜間も同様) ・ セルトレイの風通しを良くするため、スペーシング(表土の苔、害虫予防)
		最高(30.5℃)	
		最低(12℃)	

写真



現在の生育状況



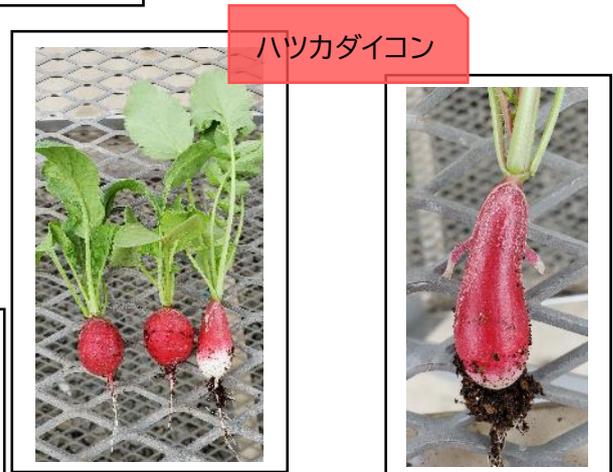
5/6 上:溢液現象
下:野菜苗スペーシング



アブラムシ発生(濡れティッシュで取る)



5/7 上:マリーゴールド根の状態 下:マリーゴールド花芽



ハツカダイコン

左:さくらんぼ
中:ニューコメット
右:紅白

収穫を喜んでいるように見える